



受賞作品 | 理科部門

〈総評〉

本年度の応募数は前回比で約26%減少しました。要因として、共働き家庭の増加や教員不足により、家庭や学校でのサポートが難しくなっていることが考えられます。しかし、応募数が減少した一方で、各作品の質は非常に高く、目を見張るものがありました。

生物に関する観察研究から、物理や化学の実験を扱ったものまで、幅広いテーマが見られ、特に日常生活の身近な疑問を出発点に実験を通してその解決策を導き出している研究が多かったことが印象的です。

中学生の作品では、小学校で習得した基礎知識を活かし、より高度で複雑な実験や考察が行われており、理科に対する探究心が深まっていることがうかがえます。今後もこのような質の高い作品がさらに増えることを期待しています。

理科の研究は、日常生活の中で感じた身近な疑問や問題が重要なテーマになることがよくあります。この「なぜ」を追究する姿勢こそが、科学の探究心を育てる原動力です。今後もその探究心を大切にし、自由な発想で研究に取り組み、新しい発見や成果を見つけてください。



文部科学大臣賞

油が好きなアリの好きな食べ物が分からない！！

神奈川県 茅ヶ崎市立東海岸小学校 4年
石井 沙南子



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

みつのヒミツをみつけよう

山梨県 北杜市立白州中学校 3年
前島 秀蓮



全国小学校理科研究協議会 会長賞

ライトフライの対応策の研究

愛知県 西尾市立平坂小学校 6年
山田 陽斗



日本初等理科教育研究会 理事長賞

食物れんさのスタートがめちゃくちゃ元気なら食物れんさのさいごにいるほくたち人間はもっともっとけんこうになる？！

東京都 目黒区立駒場小学校 3年
多田 伊織



全国中学校理科教育研究会 会長賞

コラーゲンを守れ！関節痛を防ぎ美肌効果も！いつまでも元気で若々しく！！～コラーゲン実験モデルづくりとコラーゲンを守る材料の評価～

大分県 大分県立大分豊府中学校 1年
宮崎 香帆



中央出版株式会社社長賞

細菌を管理する

東京都 白百合学園小学校 5年
飯野 真央



優秀賞

異なる河川での上流における魚種の違いとその要因を探る

神奈川県 茅ヶ崎市立円蔵中学校 2年
伊藤 将汰

ぼくの草花大きくせん～のんで、ぬって、あわだてた！～

山形県 鶴岡市立朝陽第三小学校 3年
佐藤 真

小さな仲間たちの体内観察記録

愛知県 稲沢市立稲沢西中学校 3年
丹下 瑚陽

文部科学大臣賞

油が好きなアリの好きな食べ物が 分からない！！

石井 沙南子 | 神奈川県 茅ヶ崎市立東海岸小学校 4年



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

みつのヒミツをみつけよう

前島 秀蓮 | 山梨県 北杜市立白州中学校 3年



〈選考理由〉

「りんごの中心に蜜が入っていると甘くて美味しい」という経験から、りんごの甘さに蜜が関係するかという問題を研究した秀蓮さん。素朴な疑問から始まった研究ですが、深い探究心と粘り強さが発揮されています。

この研究の特徴の一つは、まず、リンゴの外見、次に光の透過度との関係を分析していくという、組織的かつ体系的な研究であるところです。4品種、合計59個のりんごを個別に観察し、実際に切り分けて蜜の量を確認する時間と手間のかかる実験を根気強く行った点は高く評価されました。

当初は、蜜が入っているりんごの糖度が高く、甘いだろうと予想していましたが、実験の結果、蜜の有無と糖度に明確な関連は見られませんでした。しかしながら、蜜に関する詳細なデータが得られ、それを論理的にまとめた点は素晴らしいです。

今後は、異なる条件やさらなる品種を使って研究を進めることで、より多くの発見が期待されます。引き続き、好奇心を大切に、さらなる挑戦を期待しています。

全国小学校理科研究協議会 会長賞

ライトフライの対応策の研究

山田 陽斗 | 愛知県 西尾市立平坂小学校 6年



〈選考理由〉

野球をしている際にライトフライを取り損ねたことがきっかけで、フライの特性を研究し始めた陽斗さん。ボールの弾道を細かく観察し、ボールの落ちる位置は投げた位置から頂点に到達するまでの距離の約2倍ということなどを知り、自身の守備範囲を図も用いながら明確にしています。

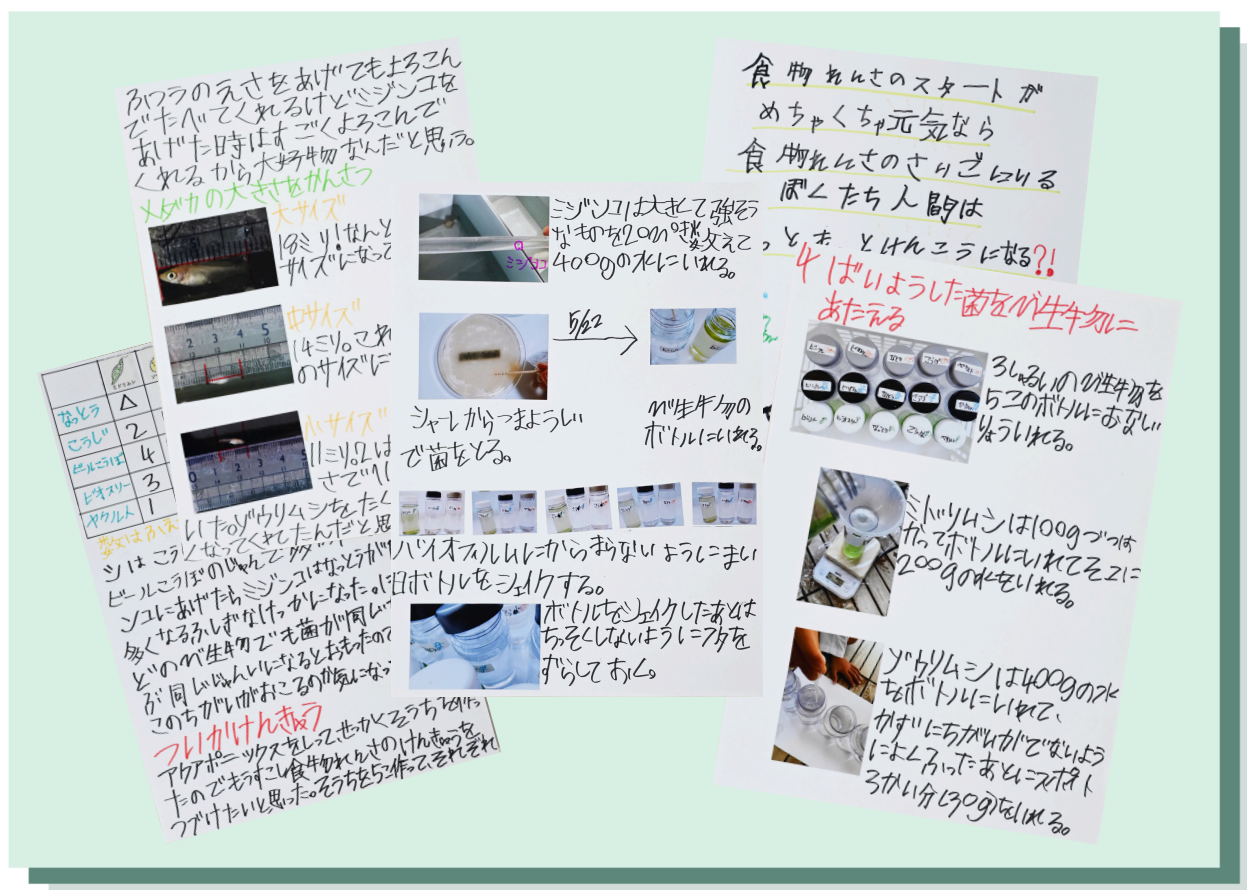
結果、実際の試合で研究を活かし、判断に迷うことなくライトフライをキャッチしました。単なる研究ではなく、ボールの球筋や自身の守備範囲を把握することによって、改めて「部員同士の声掛けの重要性」や「選手同士の衝突事故を防ぐ可能性」を認識していた点が素晴らしかったです。

それと同時に、風向きや風の強さなどの違った状況下での調査にも関心が生まれ、新たな課題も見つけられた陽斗さん。今後の研究と陽斗さんの成長を楽しみにしています。

日本初等理科教育研究会 理事長賞

**食物れんさのスタートがめちゃくちゃ元気なら
食物れんさのさいごにいるぼくたち人間は
もっともっとけんこうになる？！**

多田 伊織 | 東京都 目黒区立駒場小学校 3年



〈選考理由〉

小学3年生とは思えないほど高度なテーマに挑戦しており、驚きと感心を呼び起こします。「食物連鎖のスタートが元気なら人間も健康になるのか？」という大胆な仮説は、伊織さんの強い好奇心と洞察力が表れており、科学的な発想力が光っています。

微生物から始まる食物連鎖を追い、ミドリムシ、ゾウリムシ、ミジンコ、メダカといった段階的な実験を自ら設計し、実際に行った点は、非常に意欲的で素晴らしいです。特に、5種類の菌を一から培養し、繰り返される失敗にもめげずに原因を探りながら進めた姿勢は、

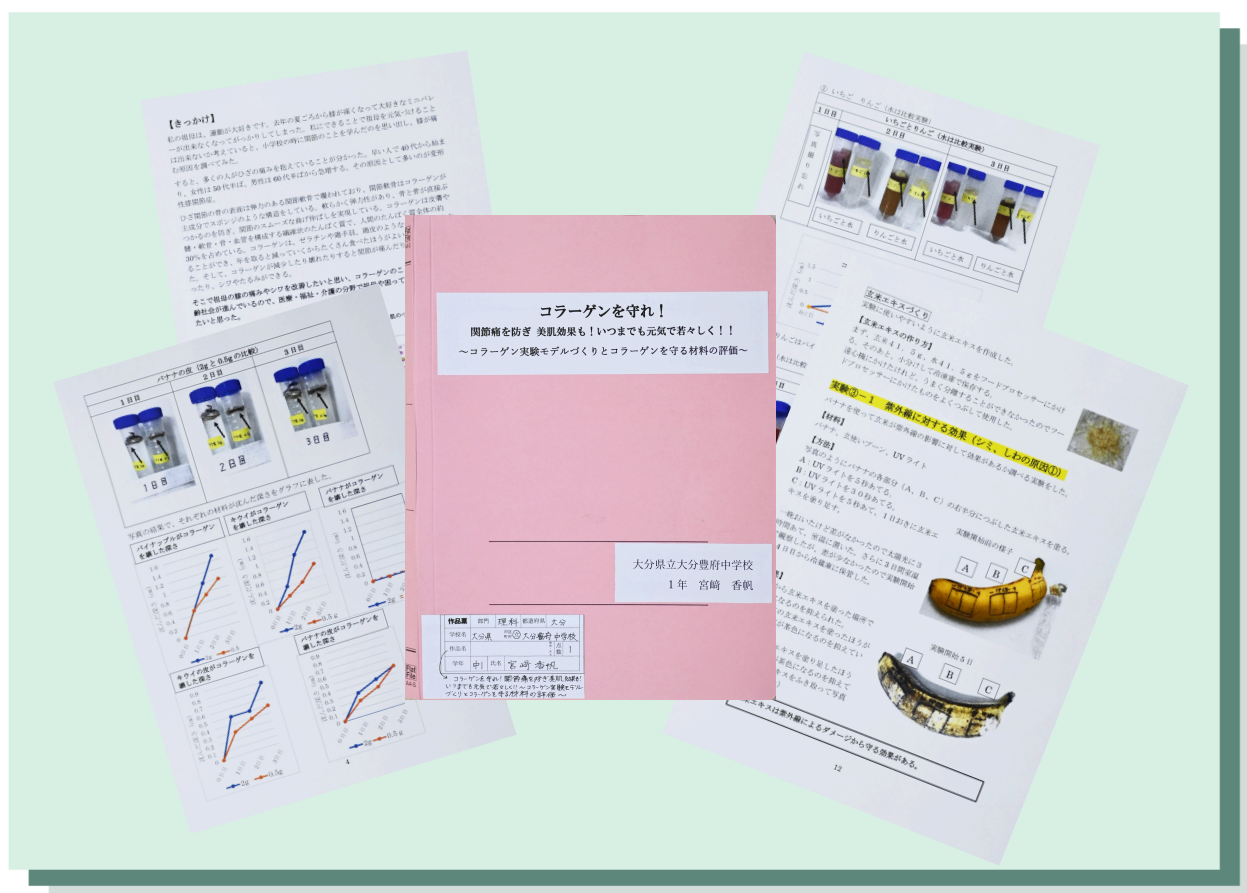
科学研究の本質をしっかりと理解している証拠です。また、メダカのふ化にも成功しており、生物の育成を含む多方面への努力が見られます。結果を的確にまとめ、自分の手で得た結論をもとに「僕たちの生活に役立つ研究をしたい」と述べる姿勢には、将来の研究者としての素質が感じられました。

これからもその探究心を大切にし、さらなる挑戦を続けてほしいです。

全国中学校理科教育研究会 会長賞

コラーゲンを守れ！関節痛を防ぎ美肌効果も！ いつまでも元気で若々しく！！ ～コラーゲン実験モデルづくりとコラーゲンを 守る材料の評価～

宮崎 香帆 | 大分県 大分県立大分豊府中学校 1年



〈選考理由〉

祖母の膝の痛みをきっかけに、自分にできることはないかと考えた香帆さん。身近な問題に目を向け、関節痛や肌の老化に関連するコラーゲンの役割に注目し、3つの実験を行った点は、非常に具体的で実践的なものでした。

特に、コラーゲン分解を抑える食材のリスト化や、抗酸化作用を確認する実験は、着実な実験手順に基づき、しっかりとした結論を導いていた点が評価できます。また、実験の過程で条件の選定や問題点を自ら発見できたことは、科学的探究心を深めるうえで非常に重要な経験です。

さらに、家族の健康問題がきっかけで社会的な課題に目を向けたことや、学校で学んだ知識を応用して社会に貢献しようとした点は大変関心させられました。今後も身近な問題を発見し、それに対して科学的な解決策を模索し、社会に貢献できる研究を続けていってください。

中央出版株式会社 社長賞

細菌を管理する

飯野 真央 | 東京都 白百合学園小学校 5年



〈選考理由〉

真央さんの「細菌」に対する探究心と努力が詰まった素晴らしい作品で、小学5年生とは思えない完成度でした。まず、細菌に関する詳細な調査が行われており、資料として使用された写真や真央さんが描いたイラストは、まるで図鑑のように整然と美しくまとめられており、読み手を飽きさせないつくりになっている点が印象的でした。また、実際に細菌を培養し、異なる環境下での成長や変化を観察した実験も行われ、その結果がしっかりと考察されています。予想と異なる結果に対して冷静に対応し、新たな知見を得た上で今後に活かすべき点を示している姿勢も見事です。

特に、空気中の雑菌管理の難しさに気付き、食中毒対策の重要性に言及している点は、実生活と結びついた視点が光る内容となっています。さらに良くするためには、この研究に至った動機や興味をもう少し明確にすると、作品全体の魅力がさらに高まるでしょう。今後も探究心を持ち続け、研究を続けてください。